



としょかん 図書館だより

長子配布

四十万小学校図書館 令和7年2月号

2月22日は、「にゃんにゃんにゃん」と読めることから「ねこの日」といわれています。

そこで、今月は、ねこが出てくる本をしょうかいします。どれも図書館にありますので、ぜひ読んでみてください！

図書館委員のおすすめ！

図書館委員さんのおすすめの本が、すてきなリボンをかけられて、図書館の中にかざられています。どんな本があるのか、ぜひ見に来てください！



〈1・2ねんせいにおすすめの本〉



ぎんいろのねこ
(あまん きみこ 作)

あたしのいえでは、いつも、のらねこの「どぶしろ」に、おさかななど、たべものをもっていかれていました。ある日、こうえんに「ももたろう」のえほんをわすれたことをおもいだして、とりにいって見たら、えほんをよみかせるこえがしました。いったいだれが、よんでいたのでしょうか。



うきわねこ
(はちかい みみ 作)

ねこの「えびお」のおたんじょうびに、おじいちゃんから、「うきわ」と、てがみがとどきました。まんげつによる、うきわをふくらませてベランダでまわっていると、おじいちゃんもやってきて、ふたりの、いちどだけのひみつのはうけんがはじまりました。

〈3・4年生におすすめの本〉



ちびねこグルのぼうけん
(アン・ピートリ さく)

こねこの「グル」は、ある日、よその家にも、もらわれることになりました。グルは、ピーターという男の子や、スミスさんというおじいさんとなかよくなりますが、ある日、飼い主のジェームズおじさんのお店でお客さんをおこらせてしまい、元の家にかえされることになってしまいます。



くろねこのどん
(岡野 かおる子 作)

えみちゃんは、雨の日に、「どん」という黒ねこに出会いました。雨の日も、風の日も、雪の日も、えみちゃんは、どんや、なかまのねこ達と楽しく遊んでいましたが、やがて、どんの姿をあまり見かけなくなってしまいました。

〈5・6年生におすすめの本〉



ぼくとニケ
(片川 優子 著)

玄太は、おさななじみの仁菜が公園でひろった子ねこの「ニケ」を育てることになります。はじめは反対していた仁菜の母や、のらねこの保護活動をしている仁菜のおばの話聞き、責任を持ってニケを育てようと思いましたが、やがて、ニケが病気になるようになってしまいました。



魔女のこねこゴブリーノ
(アーシュラ・ウィリアムズ 作)

魔女のこねこ「ゴブリーノ」は、ふつうの家でくらす、台所ねこになりたいと思っていました。ひとりで旅に出たゴブリーノは、いろいろな人々に会い、たくさんのぼうけんをしますが、なかなか、ずっとくらす家が見つかりませんでした。